

寺津中学校

自ら考えて行動し、地域の未来を創造する生徒の育成

1 心を耕す教育活動

(1) 道徳授業の実践

全校同じ日の同じ授業時間帯に道徳の授業を配置した。担任以外も道徳の授業で生徒とかかわることで、お互いの信頼関係を築きやすくなる。また、生徒も安心して授業に向かうことができ、さらに道徳心を高められると考えた。

(2) 心とからだをテーマにした授業実践

命を大切にすることを育むために、命をテーマにした道徳授業を実施する。また、保健の授業とも連携し、心とからだの健康について考えを深めていく。

2 社会で生かすことのできる思考力、コミュニケーション能力を育む学習指導

(1) 読書タイムの設置

読書の時間を設定する。月から木までの朝学習の時間に読書の時間を設け、より多くの活字に触れたり、本の中の登場人物と自分を照らし合わせて考えたりすることで、思考力を育てる。また、図書館にある本を充実させることで、読書を楽しむ寺中生が増えると考ええる。

(2) 思考力を育む寺中スタイルの実践

思考力を育てる手だてとして、まず主発問を工夫し、やってみたい考えてみたいと思えるような授業づくりをしていく。同じテーマについて考えたところで、深まりの一手を加え、生徒にさらに深く考えさせていく。話し合いの中で思考を深める寺中生を目指す。

(3) 寺トークの設定

毎週金曜日の朝学習の時間に「寺トーク」を設定し、友達とのかかわりを通して、自尊感情とソーシャルスキルを高める。

3 地域とともに育つ寺中生

地域の一員として地域を守ることができる寺中生を目指すために、登下校避難訓練や、資源回収で地域を回る活動を通して、地域の危険箇所を調べたり、どの家にどんな年齢の人が住んでいるのかを把握したりすることで、有事のときに寺津のために行動できる生徒が育つと考える。また、地域ボランティアにも積極的に参加したり、防災フェスティバルや情報モラル向上講話などに地域住民も招いたりして、地域とともに成長する寺中生を育む。



防災フェスティバルの様子

・全校道徳実践(毎週火曜日)・情報モラル向上講話(4月)・クレペリンテスト(4月)・地域別生徒会(5月)・資源回収(5月)・テントボランティア(5月)・地域別生徒会避難指導(6月)・学校保健委員会(6月)清掃ボランティア(7月1月)・寺津盆踊りボランティア(8月)・文化のつどい(11月)・寺津っ子を育てる会教育講演会(12月)・防災訓練(4月6月9月)・小中連絡会(年4回)・授業参観(年3回)